



## (I) はじめに

まず「投資」と聞いてどんなイメージを持つでしょうか。きっと「金持ちがするもの」「怖いもの」「難しいもの」といったマイナスのイメージを持つ人が多いと思います。日本では投資についての教育はほとんどされず、金融知識では遅れをとっています。一方、アメリカではローン（借金）や金融詐欺、税金、契約など、社会に出た後に関わるお金の知識を超現実的に教育されるそう。銀行に預けるだけでお金が増える時代は終わりました。自分の将来のために正しい金融知識を身に付けていきましょう。投資への興味が沸く授業にできたらと思います。

## (II) 金融商品の種類

**資産形成**とは、将来必要となる資金やいざという時の備えとなる資金を作っていくこと。どのようにお金を動かしていくかを知るためには、**金融商品**の特徴を理解しなければならない。目的に合わせ必要な投資を行えるようになる。

安全性…資産を安全に守れるか / 収益性…利益が見込めるか / 流動性…すぐに引き出せる状態か

金融商品の種類	特徴	安全性	収益性	流動性
1	<b>銀行などの金融機関にお金を預けること</b> ○絶対に減らない安心感 ○1000万円までなら、銀行が倒産しても必ず戻る ×増えることはほぼ無い ex)普通預金金利 0.1%(2024)	◎	×	◎
2	<b>国や地方公共団体、会社などがする借金を買う(国債・社債など)</b> ○決められた期限に利子を加えて返金される △万が一、企業などが倒産した場合は返金されない場合も ×自分のタイミングで引き出すことが出来ない	○	△	×
3	<b>株式会社が資金を集めるために発行する株へ投資</b> ○価格は日々変動するため、利益の期待は大きい ○配当金や株主優待を受け取れる ×暴落のリスクがあり、最悪の場合0になることもある ×損をしている状態だと売却しにくい	△	◎	△
4	<b>投資の専門家が資産運用を行い、その成果を分配する商品</b> ○少額でも投資ができる。月1万のような定額投資も可。 ○多くの会社に投資をするのでリスクを分散できる △商品によっては手数料が高かったり、 安全性が低い商品もあるため、見極めが必要。	△ <small>株式よりは○</small>	○	△

### ★その他の金融商品

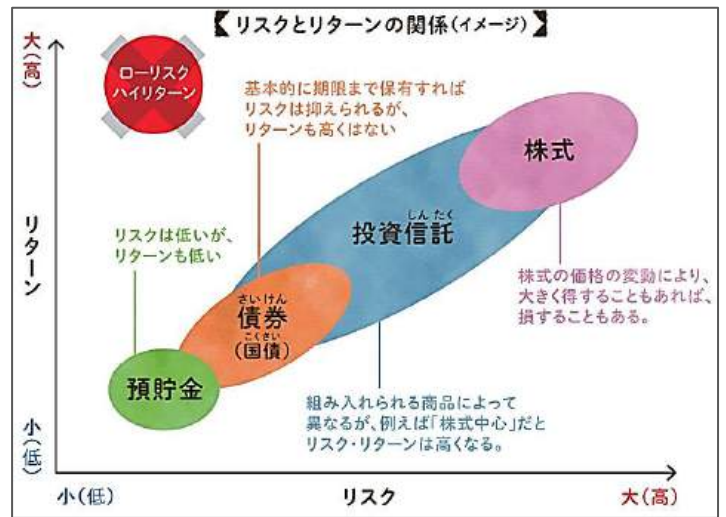
- ・<sup>[5]</sup> [ ]…外国為替という意味で、異なる国の通貨を交換することで利益を目指すもの。動かす金額が多いうえ、レートが激しく増減するため、ハイリスクハイリターン投資となる。一気に資産を減らす恐れもあり、おすすめはできない。
- ・**仮想通貨**(<sup>[6]</sup> [ ])…ビットコインやイーサリアムなどが有名。株式などと同様、価値が上下する差額で利益を目指すものだが、これも値動きが激しく、ハイリスクハイリターンである。

### (Ⅲ) 投資のポイント

#### (1) リスクとリターン

資産運用の世界では、**リターン**とは運用の結果期待できる成果（収益 or 損失）のことをいい、**リスク**とは、リターンを受ける際の値動きの振れ幅のことをいう。リスクを抑えようとすれば、当然リターンは小さくなり、逆も同じことが言える。

ローリスクハイリターンのような美味しい話は無い。あれば詐欺に近いものなので、注意。



#### (2) 分散投資

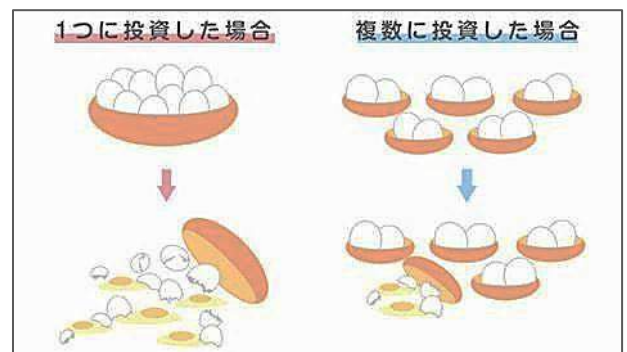
漢字の通り、「分けて投資」すること。

例えば金融商品自体を様々な種類に分散させたり、投資する国を分散させるなど分け方は様々である。

1つのものに集中すると、万が一失敗した場合に大きな損失となってしまうので、リスクを分けて投資しようということ。

卵のたとえ話が有名なので図を載せておきます。

人生における大切なお金だからこそ、分散投資することでリスクを減らすことが重要である。



### (Ⅳ) 知っておくべき制度

#### ■ NISA (少額投資非課税制度)

岸田内閣で新制度が導入されたことで話題となった、NISA 制度。どんな制度か知っていますか？

まず基本中の基本から説明すると、株は買った時と売った時の差額で、利益や損失が発生します。100 万円で買った株を 200 万円で売れば、100 万円の利益となります。しかし、日本ではその利益に税金が 20% かかる仕組みとなっており、約 80 万円しか手元に残りません。この税金を免除しようというのが NISA 制度です。

この制度により、投資へのハードルを下げて、積極的な投資活動を促すのが政府の狙いです。

旧制度では期間の縛りもありましたが、新制度により無期限で適用されるようになりました。年間 240 万 + 120 万の投資を非課税で行うことができます。右の表を参照してください。

- ※個別株…トヨタ・マクドナルド・Apple などの企業の株
- ※投信…投資信託の略称(投資信託は左の表を参照)
- ※REIT…不動産投資で生まれた利益を受け取る商品
- ※ETF…中身は投資信託と似ているが、上場しており株と同様に購入可能。

新NISA	成長投資枠	併用可	つみたて投資枠
	非課税運用期間	無期限化	
非課税投資枠	年240万円		年120万円
非課税保有限度額(総額)	生涯投資枠が1800万円 (うち成長投資枠は1200万円まで)		
買える商品	個別株や投資信託・REIT・ETF(約2260本に限定)など		289本の投信とETF8本のみ(24年7月29日現在)
備考	2つの枠の併用が可能。18歳から投資可能		

#### ■ iDeCo (個人型確定拠出年金)

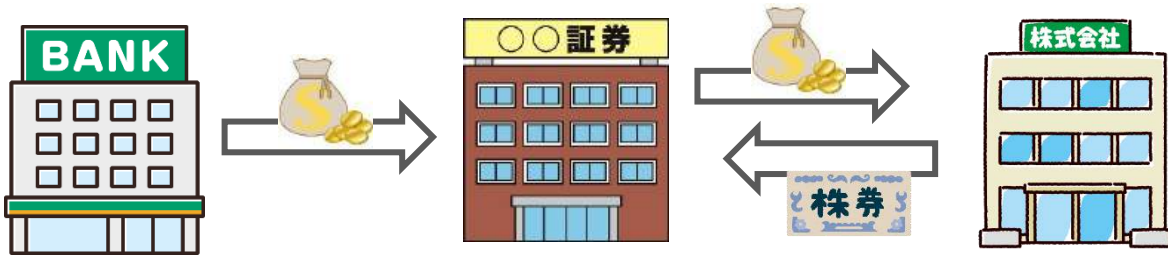
iDeCo は自分が出した掛金を運用し、老後に年金として受け取る制度。原則 60~65 歳までは掛金を出し続け、それまでは基本的に引き出すことが出来ません。自力で用意する年金のようなイメージです。

税制の優遇が受けられる点がメリットですが、将来いくら受け取れるかは運用次第で自己責任となります。

## (V) 投資を試してみたいと思ったら

興味をもって、投資に挑戦してみたい！と思った人向けの話をします。近年では、少ない株数でも購入できるサービスが増えたこともあり、数百円～数千円でも始めることはできます。ただし、株主優待や配当金を受け取る場合、100株以上の購入が条件となることが多く、それらを求める場合はまとまった資金が必要となります。

**準備① 証券口座を開設する！** 株式や投資信託などの金融商品を購入するためには、「証券口座」を開設する必要があります。簡単に言えば、株式や投資信託を買う時に、お金の出し入れをする場所のこと。株や債券は、銀行や企業サイトで直接買えるものではなく、自分の証券口座を開設することが必須となります。



早速ハードルの高い話と思うかもしれませんが、ここが最初にして最大の山場といっても過言ではありません。現在は、銀行も証券会社もネットで開設可能ですが、説明等も難しい場合もあります。不安な人は対面で申込みができる場所や知識を持った人を頼ってやってみてください。ネット銀行とネット証券会社を同じ会社で申し込むと、アプリ上でお金の移動を簡単にできるのでおすすめです。

**【有名なネット金融機関の例】 SBI 銀行⇔SBI 証券、楽天銀行⇔楽天証券など**

住信SBIネット銀行  
SBI Sumishin Net Bank

SBI GROUP SBI証券

Rakuten  
楽天証券

×

Rakuten  
楽天銀行

投資に興味が無くても、ネット銀行は一つあれば便利だと思うので、社会人になったら作るといいかもしれません。コンビニのATMに対応しているし、月に数回は手数料がかからないので、気軽にお金の出し入れができます。

**準備② 口座に資金を入れる！**

証券口座ができれば、あとは資金を入れるだけ。大体どの証券会社でも、ネット上での取引が可能になっているので、アプリで注文すれば晴れて株主となる。個別株が難しい人は、投資信託を月1万円ずつという買い方もできます。投資信託は資産運用のプロが関わる商品なので、長期的に見れば上昇する商品が多いです。自分で個別株を買うよりはリスクが低いといえます。ただし、当然投資の世界に「絶対儲かる」という言葉はありません。自分の余裕がある資金でやりくりするようにしてください。

**参考文献** ・本当の自由が手に入るお金の大学 両@リベ大学長（リベラルアーツ）朝日出版

・金融クエスト(5)将来の為に資金を運用しよう 証券知識普及プロジェクト

・これであなともひとり立ち 金融広報中央委員会

**使用アプリ**

・「株たす」 運営元：グリーンモンスター株式会社

**【プリント解答】 1 預貯金 2 債券 3 株式 4 投資信託 5 FX 6 暗号資産**

## (VI) いざ株式投資にチャレンジ!

それでは最後に、株式投資にチャレンジしてみましょう。今回は「株たす」というアプリを使用し、100万円の資産を使ってデモトレード(架空取引)を行います。※アプリのDLは強制していませんので、無い人は近くの人と一緒に画面を見てください。口座開設の広告などが出ますが、無視してもらえばよいです。基本無料で使えます。

基本的には【①銘柄選び】→【②数量・金額指定】→【③損益を見守る】という流れです。

本来であればじっくり時間をかけて、買いたいタイミングで買うものですが、今回は時間がないので即購入しましょう。



探し方は様々です。特定の会社を買いたい場合は、検索してもらえば大体出てきます。よくわからない人は、「業種から選ぶ」というところで、興味のあるものを一つ選択してみましょう。今回は空運業を選択します。

出てきた中から、有名そうな「ANAホールディングス」を選びました。2799円というのが1株の値段です。100株ほしければ約28万円が必要。折れ線グラフが値段のチャートで、下の期間をずらしながら見ると、この株が上昇中なのか下降中なのが見えてきます。

優待&配当のタブを開くと、貰えるものが表示されます。ANAでは、100株保有していれば食事券などの株主優待と5000円の配当金が受け取れることが分かります。これを目当てに投資する人もいます。

基本は会社の調子が良ければ、人気も上がり、株価も上昇します。今この会社が儲かっているのか、どのような計画が進んでいるのかなどもチェックすると、勝率も上がっていきます。



最初は難しいのは当たり前で、失敗を糧にしながら徐々に理解するものです。実際に自分のお金をかけると、会社や経済の動向が気になって、自然と勉強する姿勢になります。興味がある人は少額でもいいので挑戦してみてください! とりあえず架空の100万円で買えるだけ買しましょう。数か月後、あなたの資産はどうなるでしょうか…。

## (VII) まとめ

貯めたいお金が来月すぐ必要なのか、自分の老後に必要なのか、どの程度自由に使っていいお金なのかなど、それぞれの目的に合わせて投資することが大切です。何度も言いますが「この商品が絶対儲かる!」というものは存在せず、それぞれのメリット・デメリットを理解したうえで選択していくことが必要になります。